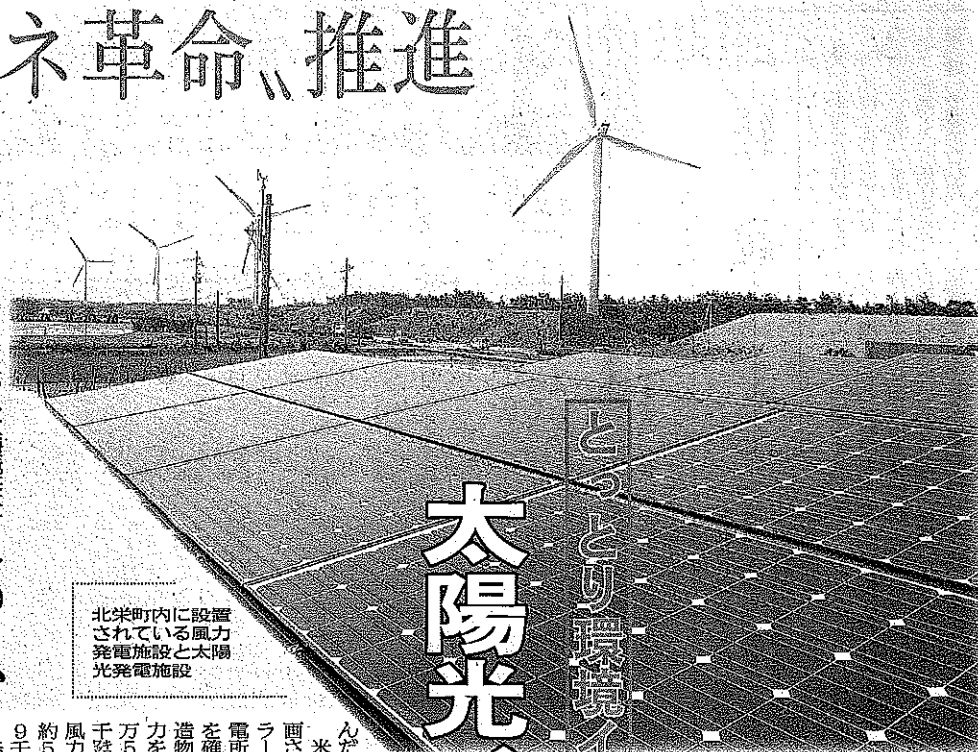


“緩やかなエネ革命”推進

鳥取県は、再生可能エネルギーへの転換や温室効果ガスの削減などを盛り込んだ実行計画「とっとり環境イニシアティブプラン」をまとめ、実践に移している。県内のNPOや地域、企業などと連携して取り組み、全国をリードする環境先進県を目指す。



第2次環境基本計画に基づき、2011～14年度の4年間の実行計画として策定。エネルギーシフトや環境実践の展開、循環社会など6分野に分けて重点的に取り組むべき項目を抽出し、目標値や施策を掲げる。

能力15%アップ
中でも再生可能エネルギーに関しては、緩やかなエネルギー革命を掲げ、4年間で設備の導入を加速させ、発電能力を15%向上させる目標を盛り込

4年後に28.8%
10年後は43%へ
電力自給率

北栄町内に設置されている風力発電施設と太陽光発電施設

太陽光、風力の導入加速

とっとり環境イニシアティブプラン

米子市崎津地区で計画されているメガソーラー(大規模太陽光発電所)で約4万3千平方メートルの太陽光発電能力を、10年度末の約1万5千キロワットから約9千キロワットに引き上げ、風力発電も10年度末の約5万9千キロワットから8万9千キロワットに引き上げる。発電事業者への支援や家庭などへの導入促進などの事業を展開することで、現在24.6%の電力自給率を、4年後には28.8%、10年後には43%まで引き上げる。10年後の目標を達成できれば、県内の一般家庭で使用する電力相当分をすべて賄える計算だ。

環境実践では、電気自動車への導入促進など環境負荷低減のライフスタイルへの転換を促すなどとして、県内全体

再生可能エネルギーの導入目標

	2010年度末	2014年度末
発電事業者	0キロワット	30,000キロワット
太陽光発電 非住宅	1,824キロワット	6,000キロワット
住宅	13,878キロワット	33,000キロワット
風力発電(大型)	59,100キロワット	89,000キロワット
バイオマス(熱利用・発電)	470,802キロワット	483,000キロワット
小水力発電(10,000キロワット以下)	74,788キロワット	76,500キロワット
水力発電(10,000キロワット超)	41,500キロワット	41,500キロワット
温泉熱利用	0キロワット	50キロワット
計	661,892キロワット	759,050キロワット

注目される「市民発電」 初期投資なしで太陽光発電
民間事業者やNPOが住民から出資を募り、地域でエネルギーの自給に取り組む「市民発電」が全国的に注目されている。一般住宅で初期投資なしで太陽光発電ができるメ

我が社の声
鳥取ガスグループ
C.O.削減や節電対策、エネルギーコストが電気式につながることで、工に比べ優位な場合が多量な商業ビルなどに対して、導入事例が増えている。冷房システム「ガス」鳥取ガスグループで空調の普及促進に力を入れている。1978年より「ガスを導入して、深刻な地球温暖化を抑制する。夏場の電力不足対策に地球温暖化が叫ぶに寄与し、ライフサイクルで貢献するようになつた。

「ガス空調」普及促進に力
今年から設置数が急増するという。国の補助金増。現在では2万7千制度もあり、環境に優しいエアコン4万3千台の導入にもなっている。当と、電力換算する。昨年の大震災以降、と3万1600キロワットに相当する。全国的に電力不足が問題となっており、同グループは「大きな節電は、商業施設、医療、効果に環境性、経済性、学校施設など幅広い導入されており、積極的導入を促す。電気式の老朽化に伴い、積極的に導入を促す。」「ガス空調」に切り替えて、省エネが実現している。

本キャンペーンについての意見、感想をお寄せください。はがきに住所、氏名、年齢、職業、意見・感想、今後取り上げてほしいテーマを記入の上、〒680-8688(住所不要)、日本海新聞メディア企画部「環境キャンペーン」係まで送ってください。

ホームページでも
特集内容は、日本海新聞のホームページ「Net Nihonkai」でも紹介しています。バックナンバーや協賛各社の最新情報をご覧いただけます。アドレスは次の通りです。
<http://www.nnn.co.jp/sp/eco>

広告についてのお問い合わせは最寄りの各本社へ。
新日本海新聞社本社広告課 0857 (21) 2884
中部本社広告課 0858 (28) 8320
西部本社広告課 0859 (34) 8814